福祉人材センターキャリア支援員　マッチング事例

相談者	男性　　50代　　在職中　　（県央）
相談場所	☑ 定期相談　　☐ 臨時相談
相談内容	☑ 介護職の経験がなく不安 ☐ 子育てとの両立が不安 ☐ ブランクがあり不安 ☑ 資格取得について ☑ しごと体験、施設見学について ☑ 応募先事業所について ☐ 勤務時間に制限がある　（理由：　　） ☐ 通勤手段に制限がある　（理由：　　） ☐ その他（　　）
所有資格	介護職員初任者研修
福祉職の経験年数	☐ あり（　　年） （　　年） （　　年） ☑ なし
相談者の希望	①種別／ グループホーム　　②職種／ 介護職員 ③勤務形態／ 正職員　　④勤務時間・日数／ ⑤賃金／（基本給）月 15万円 ⑥夜勤／ ☑ 可　　☐ 不可（理由：　　） ⑦その他（　　）
イベントへの参加状況	介護のしごと就労支援講座 小規模介護事業所面談会
体験・見学の実施状況	☑ しごと体験　　☑ 施設見学　（☐ 支援員同行　　☑ 相談者のみ） ☐ 実施なし
支援内容（キャリア支援員）	○大手家電メーカーに勤務していたが事業縮小により3年前にリストラとなった。 ○介護職員初任者研修の職業訓練を経て、福祉人材センターに登録。希望していた障がい者支援施設の支援員となったものの、期限更新にならなかった。 ○その後、障がい者支援施設へ就職をするも、上司、同僚からのパワハラにより半年程で自己都合退職。 ○自身の心身のケアをしつつ、就業分野を高齢介護分野に変更して施設見学をし、絞り込んだ施設で「介護のしごと体験」を実施し、事業所の介護理念に共感し、介護職・正職員求人へ応募、採用となった。
（事業所）	○施設見学の後、「介護のしごと体験」を実施した。体験希望の相談から速やかに連続5日間受け入れとなった。 ○施設の理念は「施設のルール」ではなく、「ご利用者様の希望に沿った支援」を掲げている。 ○「しごと体験」実施後もぜひ応募して欲しい人材との好印象であったことから、応募紹介後は面接したうえで、即採用となった。
結果	採用となったサービス種別・職種（　　グループホーム　　介護職員　　） ○面接日の直後に、定期相談日であったことから支援員に報告を兼ねて挨拶にきた。 ○さっそく、3年後の介護福祉士国家試験を見据えて、次年度開催の介護職員実務者研修受講の相談やアドバイスを行い、申込みを済ませた。 ○相談開始から就職まで2年9ヶ月。

福祉人材センターキャリア支援員　マッチング事例

相談者	女性　　20代　　在職中　　（県央）
相談場所	☑ 定期相談　　☐ 臨時相談
相談内容	☑ 介護職の経験がなく不安 ☐ 子育てとの両立が不安 ☐ ブランクがあり不安 ☐ 資格取得について ☑ しごと体験、施設見学について ☐ 応募先事業所について ☐ 勤務時間に制限がある　（理由：　　） ☑ 通勤手段に制限がある　（理由：　主治医から車の運転は控えるよう指示されている。　） ☐ その他（　　）
所有資格	介護職員初任者研修
福祉職の経験年数	☐ あり（　　年） （　　年） （　　年） ☑ なし
相談者の希望	①種別／ デイサービス　　②職種／ 介護職員 ③勤務形態／ 常勤職員（正職員以外）　　④勤務時間・日数／ ⑤賃金／ ⑥夜勤／ ☐ 可　　☑ 不可（理由：発達障がいのため　　） ⑦その他（　　）
イベントへの参加状況	介護のしごと再就職支援講座 介護のしごと就労支援講座
体験・見学の実施状況	☑ しごと体験　　☑ 施設見学（☑ 支援員同行　　☑ 相談者のみ） ☐ 実施なし
支援内容（キャリア支援員）	○定期相談会に来所。 ○現在の仕事は厨房での食器洗浄作業だが、ミスが多く、離職を求められているとのこと。 ○最初にキャリア支援員とのAデイサービス同行施設見学を実施し、しごと体験を希望したものの施設側からしごと体験を辞退された。 ○介護のしごと「再就職支援講座」で介護技術について再認識し、「就労支援ワンポイントミニ講座」で応募書類の添削、面接指導を経て、施設見学、しごと体験に望んだ。 ○次に見学を行った有料老人ホームBで「介護のしごと体験」を希望、日程などコーディネートし、3日間の体験を実施した。 ○その後、体験実施した有料老人ホームBへ応募し、非常勤パート職として採用となった。
（事業所）	○「介護のしごと体験」を実施した中で本人の適性について理解を深めた。 ○面接・採用にあたって、施設長が本人の適性について理解し、本人のできること・得意なことを伸ばすよう、配慮をしつつ採用となった。
結果	採用となったサービス種別・職種（　　有料老人ホーム　　介護職員　　） ○医師からの指導により運転免許を所持していないことや、日勤のみの勤務を希望したことを説明した。 ○「介護のしごと体験」を3日間実施した。介護職員初任者研修を修了しており、本人の就労意欲は非常に高く、このことを評価され、採用となった。 ○看護師資格を持つ施設長は、相談者からは明かされなかった（発達）障がいの内容に理解があった。本人の適性の範囲内での職務に従事させ、自施設の戦力化を図ることとした。

福祉人材センターキャリア支援員　マッチング事例

相談者	女性　　30代　　無職　　（県南）
相談場所	☑ 定期相談　　☐ 臨時相談
相談内容	☑ 介護職の経験がなく不安 ☑ 子育てとの両立が不安 ☐ ブランクがあり不安 ☐ 資格取得について ☐ しごと体験、施設見学について ☐ 応募先事業所について ☑ 勤務時間に制限がある　（理由：　子どもの下校前に帰宅したい　　） ☐ 通勤手段に制限がある　（理由：　　） ☐ その他（　　）
所有資格	ホームヘルパー2級　　調理師
福祉職の経験年数	☐ あり（　　年） （　　年） （　　年） ☑ なし
相談者の希望	①種別／ グループホーム　　②職種／ 介護職員 ③勤務形態／ 非常勤・パート　　④勤務時間・日数／　9時～14時、週3日程度 ⑤賃金／ 扶養の範囲内 ⑥夜勤／ ☐ 可　☑ 不可（理由：幼稚園、小学校の子どもがいて夜間留守にできない　） ⑦その他（　　）
イベントへの参加状況	介護のしごと再就職支援講座 小規模介護事業所面談会
体験・見学の実施状況	☑ しごと体験　☑ 施設見学　（☑ 支援員同行　☐ 相談者のみ） ☐ 実施なし
支援内容（キャリア支援員）	○ホームヘルパー2級を修了するも、経験がなく不安に感じていたため、介護のしごと再就職支援講座を案内、受講 ○勤務時間相談可能な求人事業所を複数提示し、求人事業所に関する情報提供 ○上記求人の中から希望した事業所への同行見学を実施（2事業所） 経験が無いことによる不安　⇒　応募前に個別見学　※相談者の希望により同行 相談者の不安、勤務時間の希望等を事業所に伝える ○本人の希望により、上記見学実施の2事業所での介護のしごと体験を調整
（事業所）	○見学の際に、仕事内容や事業所について丁寧に説明 ○介護のしごと体験の受入れ ○相談者の希望する勤務時間に合わせた勤務体系の検討
結果	採用となったサービス種別・職種（　　グループホーム　　介護職員　　） ○事業所が求人内容を変更調整。相談者は子供の通学、通園時間の勤務時間、土日祝日休みでの勤務となり、キャリア支援員の支援は終了。 （勤務時間／9時～14時　勤務形態／パート） 初回相談から採用まで6ヶ月。

福祉人材センターキャリア支援員　マッチング事例

相談者	男性　　30代　　無職　　（県北）
相談場所	☑ 定期相談　　☐ 臨時相談
相談内容	☐ 介護職の経験がなく不安 ☐ 子育てとの両立が不安 ☐ ブランクがあり不安 ☑ 資格取得について ☑ しごと体験、施設見学について ☑ 応募先事業所について ☐ 勤務時間に制限がある　（理由：　　） ☐ 通勤手段に制限がある　（理由：　　） ☐ その他（　　）
所有資格	介護職員初任者研修
福祉職の経験年数	☐ あり（　　年） （　　年） （　　年） ☑ なし
相談者の希望	①種別／ 特別養護老人ホーム　　②職種／ 介護職員 ③勤務形態／ 正職員　　④勤務時間・日数／　条件なし ⑤賃金／（基本給）月18 万円 ⑥夜勤／ ☑ 可　　☐　不可（理由：　　） ⑦その他（　　）
イベントへの参加状況	介護のしごと就労支援講座
体験・見学の実施状況	☐ しごと体験　　☑ 施設見学（☑ 支援員同行　　☐ 相談者のみ） ☐ 実施なし
支援内容（キャリア支援員）	○父親の実家が二戸市にあり東京で働いていたが戻ってきた。(Iターン) ○介護に関心があるが資格優先なのか就職活動方法について相談。 ○タイミングよく二戸職業訓練協会で介護職員初任者研修があり受講。 ○時間がある時に二戸市内をドライブして道を覚える努力をしていた。 ○初任者研修修了に合わせワンポイントミニ講座や面談会を利用。 ○施設を2か所見学。 ○働き方や将来的に正職員になれるのかなど条件を比べてみた。 ○しごと体験も視野に入れたが見学で十分に施設の理解ができたことで応募に至る。
（事業所）	○事業所のサービスごとの施設を見学し働き方や、入所者様の様子を説明してもらった。 ○求人票をみながら採用になった場合の大まかな雇用条件等を説明してもらった。
結果	採用となったサービス種別・職種（　特別養護老人ホーム　介護職員　） ○1年の有期雇用。 ○正職員の条件は規定で示されており本人もこれからのスキルアップも明確である。3年の経験を経て介護福祉士、そして介護支援専門員までの目標がある。正職員の条件は主なものとして介護福祉士資格と就業時間シフトに制限がないことである。

福祉人材センターキャリア支援員　マッチング事例

相談者	男性　　50代　　無職　　（沿岸）
相談場所	☑ 定期相談　　☐ 臨時相談
相談内容	☐ 介護職の経験がなく不安 ☐ 子育てとの両立が不安 ☐ ブランクがあり不安 ☐ 資格取得について ☐ しごと体験、施設見学について ☑ 応募先事業所について ☐ 勤務時間に制限がある　（理由：　　） ☐ 通勤手段に制限がある　（理由：　　） ☐ その他（　　）
所有資格	介護職員初任者研修
福祉職の経験年数	☐ あり（　　年） （　　年） （　　年） ☑ なし
相談者の希望	①種別／ デイサービス　　②職種／ 介護職員 ③勤務形態／ 正職員　　④勤務時間・日数／ ⑤賃金／（基本給）月15 万円 ⑥夜勤／ ☐ 可　　☑ 不可（理由：　　） ⑦その他（　　）
イベントへの参加状況	介護のしごと再就職支援講座 介護のしごと就労支援講座
体験・見学の実施状況	☐ しごと体験　　☑ 施設見学（☑ 支援員同行　　☐ 相談者のみ） ☐ 実施なし
支援内容（キャリア支援員）	○ 相談者の前職がタクシーの運転手であったことを考慮し,福祉事業を展開している民間のタクシー会社を薦める。
（事業所）	○受け入れ先事業所に相談し新規に求人を出してもらい求職者に対して社長自ら直接、施設案内と業務内容について説明。 細かく福利厚生や給与の面などの説明をされ、求職者に具体的にイメージしてもらうとともにぜひ応募して欲しいことを全面的にアピールし安心感を持ってもらえるよう対応された。
結果	採用となったサービス種別・職種（　　デイサービス　　運転手　　） ○ 正規職員として採用

福祉人材センターキャリア支援員　マッチング事例

相談者	男性　　30代　　無職　　（沿岸）
相談場所	☑ 定期相談　　☐ 臨時相談
相談内容	☐ 介護職の経験がなく不安 ☐ 子育てとの両立が不安 ☐ ブランクがあり不安 ☐ 資格取得について ☑ しごと体験、施設見学について ☑ 応募先事業所について ☐ 勤務時間に制限がある　（理由：　　） ☐ 通勤手段に制限がある　（理由：　　） ☐ その他（　　）
所有資格	介護職員初任者研修
福祉職の経験年数	☐ あり（　　年） （　　年） （　　年） ☑ なし
相談者の希望	①種別／ デイサービス　　②職種／ 介護職員 ③勤務形態／ 正職員　　④勤務時間・日数／ ⑤賃金／（基本給）月15 万円 ⑥夜勤／ ☑ 可　　☐ 不可（理由：　　） ⑦その他（　　）
イベントへの参加状況	
体験・見学の実施状況	☑ しごと体験　　☑ 施設見学　（☑ 支援員同行　　☐ 相談者のみ） ☐ 実施なし
支援内容（キャリア支援員）	○ 相談者の前職が「仮設住宅支援員」であることを考慮し、数カ所の施設見学をしたのち大型仮設住宅敷地内にあるディサービスを薦めた。 相談者の今までの生活環境、就労環境が大きく変わることのないように配慮した。 施設見学後も求職者、事業所と密に連絡を取り合うなど、お互いが必要とする情報を共有しマッチングに至った。
（事業所）	○本部の統括、施設長が、立会での施設見学となり、求職者の方に対し業務や就業後の説明などきめ細やかな対応をしてもらった。
結果	採用となったサービス種別・職種（　　デイサービス　　介護職員　　） ○ 常勤職員として採用